

シリーズ「建築のみかた」第11回  
**能と間と建築**

2019年 **9月25日(水)**

開場：17:30

時間：18:00～20:00

場所：**建築会館ホール**

主催：日本建築学会関東支部

日本の伝統文化を代表する芸術である能は、京間3間四方のシンプルな舞台空間で演じられる。「間」という言葉で表現される日本特有の時間空間感覚に思いをはせながら能を鑑賞することは、建築空間の魅力への新たな気づきにつながるかもしれない。また見るもののイメージを誘う表現は、バーチャルやイマーシブといった映像的表現とは対極的であるところも興味深い。本企画では能の鑑賞を通じて新たな「建築のみかた」を得るべく、宝生流能楽師である佐野弘宜氏をお招きして、能という伝統芸能の中に息づく空間の声に耳を傾けてみたい。

定員：150名（申し込み先着順）  
参加費：会員 1,000円 会員外 2,000円

**申込受付は終了いたしました。**  
**ご希望の方は直接会場へおこしてください。**

**第1部 18:00開会 18:05～「能のみかた」：能の解説と鑑賞**

宝生流能楽師 **佐野弘宜**



昭和58年生

宝生流能楽師・佐野由於の次男 19代宗家・宝生英照、20代宗家・宝生和英、父・佐野由於に師事

4歳で初舞台を踏み、平成30年に「乱」、平成31年に「道成寺」

を披く 東京藝術大学邦楽科を卒業

同大学院を修了

関東・北陸3県を中心に全国で活動

**第2部 19:05～20:00「夢幻能才セローの舞台設計」＋ 対談**

明治大学教授・建築家 **田中友章** ＋ 宝生流能楽師 **佐野弘宜**